

社会科「学習の手引き」(準備物, 授業の受け方, 家庭学習の仕方)

(1) 準備物について ※必ず名前を記入しましょう。

- ① 教科書…地理・歴史・公民(3年生のみ)のうち、指示のあった教科書を持ってきてください。
 - ② ノート…自分で用意してください。必ず地理・歴史・公民それぞれ別のノートを用意してください。
※「公民」は3年生で学習する分野です。ノートの準備は3年生になってからでいいです。
 - ③ 全員購入したワーク…単元テスト時に提出します。 普段の授業では指示がない限り必要ありません。
 - ④ 地図帳…地理・歴史の授業で使います。
 - ⑤ シャープペンシル、消しゴム、赤ペン、青(黄・緑などでも可)、定規、のりなどの文房具が必要です。
- ※授業の内容によって必要なものが変わるので、毎日の教科係の連絡をきちんと確認しましょう。

(2) 授業の受け方について

「授業は自分のために真剣に受ける」「他の人の集中を邪魔することは絶対にしない」

授業は「真剣勝負の場」です。ぼーっとしていたり、ほかのことを考えていたり、おしゃべりをしていては絶対にいけない時間です。先生や友達の話を聞き逃さないように集中して取り組み、大事なことはメモをとりましょう。ノートは先生の書くスピードに遅れないように丁寧にすばやく書きましょう。ペンなどを使って、大事なところがすぐわかるように工夫しましょう。授業で使ったプリントなどは、必ずその都度のりで貼りましょう。疑問に思ったことや分からないところは先生に質問しましょう。

(3) 勉強の仕方について

社会科では、「社会科という教科についての“知識”」「知識をもとに資料から必要な情報を読み取ったり、読み取った情報をまとめたりする“技能”」「知識や技能を用いて手に入れた情報を結び付けて、課題について多面的・多角的に“思考”したり、社会の状況を踏まえて正しい“判断”をしたり、根拠を明確にして様々な方法で自分の考えを“表現”したりする力」が求められます。

これらの力は、毎時間の授業で育てています。なので、授業の中で課題を立てたり、課題について自分の考えをまとめたりすることが大切です。そして、家庭で学習するときは、授業の中身を振り返ることが重要です。

① 知識を身に付けるために

- ・教科書を読む ・太字の語句を何度も書く ・太字の語句の説明をノートに書く
- ・ワークに繰り返し取り組む ※最低限これらのことには取り組んでからテストを受けましょう
※問題を解いていてわからないことは地図帳や年表を活用して復習すると理解が深まります

② 技能を身に付けるために

- ・授業で使った教科書の資料(地図・分布図・雨温図・グラフ・絵など)や地図帳から、授業ノートを見ずに課題(問い)の解決に必要な情報をもう一度読み取って家庭学習ノートに書く
- ・ワークの資料読み取り問題に取り組む ・市販の問題集の資料読み取り問題に取り組む

③ 思考・判断・表現を身に付けるために

- ・授業の課題を家庭学習ノートに書き出し、授業ノートのまとめを見ずにまとめを再び作成する
- ・単元の課題を家庭学習ノートに書き出し、授業ノートのまとめを見ずにまとめを再び作成する

※定期テストや単元テスト、学力テストをとってにおいて問題集代わりに使用することは非常に有効です